



田上 義隆さん

Tanoue Yashitaka

(中横田区)

たのうえ・よしとか / 町交通指導隊長。昭和55年から町交通指導員として、本町の交通安全に関する啓発活動に尽力。平成18年から、隊長に就任。

加害者にも被害者にもならないように交通安全への自覚を

「近ごろ気になるのが、携帯電話を使いながら車や自転車を運転をしている人が、また増えていること」と危惧（きぐ）するのは、町交通指導員の隊長を務める田上義隆さん。

「運転中の使用禁止を強く呼

び掛けていた時期は、危険運転は減っていたけれど。片手に携帯、片手にたばこを持った状態で運転する人も見掛けて、非常に危険」と注意を呼び掛ける。

町交通指導員は、町内の交通安全に関する活動に従事し、現

在12人。児童・生徒の登校時の交通指導や交通安全教室での指導、交通安全に関する普及啓発活動などに取り組む。

田上さんは、甲佐中学校の入口交差点で、生徒の登校時に交通指導を行う。「昔に比べると、今の生徒たちは交通ルールやマナーをしっかりと守る子が多い」と見る一方で、「部活などで疲れているせいか、帰り道は危ない自転車の運転も見掛ける。」

ルールはルールだから、自分の身を守るためにも、しっかりと守ってほしい」と苦言。

9月21日（水）～30日（金）は、毎年恒例の秋の全国交通安全運動。近年、子どもたちや高齢者の事故が増加していることから、指導員も関係機関と連携して事故防止を呼び掛ける。

「小・中学生や、特に小さい子どもたちは、道路を歩いたり自転車に乗ったりするときに、十分に周囲に気を付けてほしい」と田上さん。また、高齢者には、「車などの運転は、若いころと同じ感覚で操作しては危険。自分の年齢と動きを、しっかりと自覚してほしい」と注意。

「交通安全は、とにかく自分自身で交通ルールとマナーを自覚して、必ず守ること。安全・安心な運転や通行を常に心掛けて、加害者にも被害者にもならないように、道路では十分に注意を配ってほしい」と強く語る。

今後も「指導員の活動は地道な取り組みですが、甲佐町の事故が少しでも減るように、指導員一同で協力して取り組んでいきたい」と、安全・安心な甲佐町を目指して通行を見守る。